

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 副助詞を識別せよ。

光だに見えず。

Q2. 識別せよ。

神すらかしこむ。

Q3. 識別せよ。

雨降り、風さへ吹く。

Q4. 識別せよ。

命だに惜しからず。

Q5. 識別せよ。

心ある人すら知らず。

Q6. 識別せよ。

月明け、星さへ出づ。

Q7. 識別せよ。

一夜だに眠られず。

Q8. 識別せよ。

親すら子を捨つ。

Q9. 識別せよ。

花散り、葉さへ落つ。

Q10. 識別せよ。

一言だに告げず。

Q11. 識別せよ。

仏すら迷ふ。

Q12. 識別せよ。

寒く、雪さへ降る。

Q13. 識別せよ。

せめて一度だに会はなまし。

Q14. 識別せよ。

鳥すら鳴かず。

Q15. 識別せよ。

嵐の音、地さへ揺るがす。

Q16. 識別せよ。

我だに知らねば、誰かは知らむ。

Q17. 識別せよ。

君すら心通はず。

Q18. 識別せよ。

病、心さへ痛む。

Q19. 識別せよ。

ひと滴だに雨降らず。

Q20. 識別せよ。

風吹き、霜さへ置く。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 識別せよ。

せめて夢にだに見えなむ。

Q22. 識別せよ。

賢人すら過つ。

Q23. 識別せよ。

雨降り、雷さへ鳴る。

Q24. 識別せよ。

子だに親を顧みず。

Q25. 識別せよ。

一度だに御目にかからばや。

Q26. 識別せよ。

神すら助けず。

Q27. 識別せよ。

草木さへ枯れぬ。

Q28. 識別せよ。

文字だに読まれず。

Q29. 識別せよ。

風の音すら聞こえず。

Q30. 識別せよ。

雨に風さへ加はりて。

Q31. 識別せよ。

我が身だにもて余す。

Q32. 識別せよ。

ありがたき友すら離れぬ。

Q33. 識別せよ。

心さへ乱れぬ。

Q34. 識別せよ。

しばしだに心安からず。

Q35. 識別せよ。

鬼すら恐る。

Q36. 識別せよ。

春の風、香りさへ運ぶ。

Q37. 識別せよ。

一筆だに書かず。

Q38. 識別せよ。

帝すら心動かす。

Q39. 識別せよ。

暮らし果てて、命さへ惜しからず。

Q40. 識別せよ。

影だに残らず。

Q41. 識別せよ。

仏すら助けず。

Q42. 識別せよ。

雪降り、霰さへ散る。

Q43. 識別せよ。

三日だに待たず。

Q44. 識別せよ。

古き友すら忘れにけり。

Q45. 識別せよ。

心、目さへくらむ。

Q46. 識別せよ。

庵の戸だに閉ぢず。

Q47. 識別せよ。

帝の御心すら動く。

Q48. 識別せよ。

旅の労、心さへ疲る。

Q49. 識別せよ。

せめて言葉だに残さばや。

Q50. 識別せよ。

涙、声さへかれぬ。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 識別せよ。

我だにかく思ふ、まして人は。

Q52. 識別せよ。

鬼神すら心ありや。

Q53. 識別せよ。

花散り、葉さへ色変はる。

Q54. 識別せよ。

雀の子だに羽ばたく。

Q55. 識別せよ。

賢き帝すら惑ふ。

Q56. 識別せよ。

月隠れ、星さへ見えず。

Q57. 識別せよ。

一夜だに会はばや。

Q58. 識別せよ。

神仏すらかなはず。

Q59. 識別せよ。

涙、袖さへ朽ちぬ。

Q60. 識別せよ。

名だにに告げず去りぬ。

Q61. 識別せよ。

都人すら驚く。

Q62. 識別せよ。

御方様、御目さへ腫れたまふ。

Q63. 識別せよ。

せめて夢にだに見え給へ。

Q64. 識別せよ。

仏すらぞ知らぬ。

Q65. 識別せよ。

風吹き、波さへ荒し。

Q66. 識別せよ。

言の葉だに通はず。

Q67. 識別せよ。

我が君すら疑ふ。

Q68. 識別せよ。

古き道、跡さへ消えぬ。

Q69. 識別せよ。

せめて一目だにに見せ給へ。

Q70. 識別せよ。

賢き人すら過つ、いはむや凡人をや。

Q71. 識別せよ。

御涙、御袖さへ濡らしたまふ。

Q72. 識別せよ。

我が思ひだに告げざりき。

Q73. 識別せよ。

帝すら御心動きたまふ。

Q74. 識別せよ。

雨、雪さへ降りて、寒し。

Q75. 識別せよ。

いとはかなき夢だに見えず。

Q76. 識別せよ。

草木すら情けを知る。

Q77. 識別せよ。

風、霧さへ立ちぬ。

Q78. 識別せよ。

一句だに詠まず。

Q79. 識別せよ。

童すら知れり。

Q80. 識別せよ。

御涙、御衣さへぬるるばかりなり。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 次の歌の傍線部「だに」を識別せよ。

せめて夢にだに見えむと祈る。

Q82. 識別せよ。

親すら子に背かれて、いはむや他人をや。

Q83. 識別せよ。

涙、声さへかれて、ものも言はれず。

Q84. 識別せよ。

一日だに忘れず。

Q85. 識別せよ。

神すら心動かす歌。

Q86. 識別せよ。

風、月の影さへゆかし。

Q87. 識別せよ。

我が身だにながらへば、なほ世の中も見ばや。

Q88. 識別せよ。

中宮すら驚かせたまふ。

Q89. 識別せよ。

雪降り、霜さへ深し。

Q90. 識別せよ。

夢だににおぼつかなし。

Q91. 識別せよ。

鬼神すらまれにあらはる。

Q92. 識別せよ。

御涙、御簾さへしほれて。

Q93. 識別せよ。

せめて影だに慕はばや。

Q94. 識別せよ。

我すらかくぞあやしき。

Q95. 識別せよ。

川の音、心さへ澄む。

Q96. 識別せよ。

一瞥だににくれず。

Q97. 識別せよ。

御目すらくらまれたまふ。

Q98. 識別せよ。

暑く、汗さへ流る。

Q99. 識別せよ。

一行だに書かれず。

Q100. 次の文の3つの副助詞をそれぞれ識別せよ。

神すらかしこむ世に、我だに惑ふ、心さへ乱る。